

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27年3月16日

計画の名称	酒田駅周辺におけるにぎわいの創出		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成25年度 (4年間)	交付対象	酒田市
計画の目標			

酒田駅周辺は、近年相次ぐ大型店舗の撤退で商業ポテンシャルが急激に減少している。
 酒田駅周辺を再生することは酒田市の持続可能な発展からも急務である。駅前大型店舗撤退跡地を市で取得し、官民が一体となった開発の取り組みを進めている。
 優良建築物等整備事業による都市機能の更新や魅力ある都市空間の整備、駅周辺の環境整備を行い、快適で魅力ある酒田市の玄関口として、酒田駅周辺のにぎわいの創出を目指す。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 酒田駅周辺における歩行者・自転車交通量を688人/日 (H20) から1,500人/日 (H26) に増加 酒田市中心市街地活性化基本計画で掲げている「街なか居住の促進」の評価指標を+0.2%から+3.6%に増加 		
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 酒田駅前通りにおける歩行者・自転車交通量を測定する。	688人/日	-	1,500人/日	※当初現況値はH20の調査値である
② 酒田市中心市街地活性化基本計画内の居住人口を調査する。 中活計画上の増分=H25目標値/H20当初=2960/2954=0.2%増 ⇒ 優建事業による上乗せ増分=((2960+100)/2954)=3.6%増	+0.2%増	-	+3.6%増	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	36百万円	A	36百万円	B	0百万円	C	0百万円	そのほか関連する事業 (D)	0百万円
-------	--------------	-------	---	-------	---	------	---	------	----------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
第三者で構成される評価委員会から意見を聴取し評価を行う	整備計画期間の翌年度 (平成27年3月16日)
	公表の方法
	酒田市ホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	住宅	一般	酒田市	間接	民間	住宅	優建	酒田駅前地区優良建築物等整備事業	商業、住宅等 1.1ha	酒田市						36	
合計											36						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
																0	
合計											0						
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
																0	
合計											0						
その他関連する事業																	
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
																0	
合計											0						

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		基幹事業（優良建築物等整備事業）のコアである建築工事まで至らないまま、本整備計画を休止せざるを得ない状況となり、事業効果は発現できなかった。			
II 定量的指標の達成状況	指標①酒田駅周辺における歩行者・自転車交通量	最終目標値	1,500人/日	目標値と実績値に差が出た要因	基幹事業（優良建築物等整備事業）のコアである建築工事まで至らないまま、本整備計画を休止せざるを得ない状況となり、指標の増加要因として見込んでいたホテル、商業施設等の整備が実施できなかったため。
		最終実績値	779人/日		
	指標②酒田市中心市街地活性化基本計画で掲げている「街なか居住の促進」の評価指標	最終目標値	+3.6%	目標値と実績値に差が出た要因	基幹事業（優良建築物等整備事業）のコアである建築工事まで至らないまま、本整備計画を休止せざるを得ない状況となり、指標の増加要因として見込んでいたマンション整備が実施できなかったこと等、中心市街地全体の人口減少に歯止めがかからなかったため。
		最終実績値	-10.3%		
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前関連整備については、他の社会資本総合整備計画（酒田市における中心市街地のにぎわい再生）に移行し、引き続き、快適で魅力ある酒田市の玄関口として、酒田駅周辺のにぎわいの創出を目指す。 ・今回行った事業により、駅周辺地区が抱えている課題や問題点が明らかになり、今後の駅周辺計画の見直しに生かしながら整備を図っていく。 <p>平成26年度 酒田駅周辺地区ランドデザイン策定業務（社会資本整備総合交付金）</p>					

(参考図面)

